



部屋の雰囲気を 変えましょう

壁紙は、部屋を明るく見せたり、落ち着いた雰囲気にしたたり、自慢の家具を引き立たせたりと、部屋の印象を決定づけるのに大きな役割を果たします。ちょっとした点に気を付ければ、日曜大工での貼り替えも夢ではありません。

日曜大工

成功の秘訣は、必要な工具をホームセンターなどでそろえ、厚みのある壁紙を選ぶことです。

貼り替え作業の前段は、次の通りです。

- ①古い壁紙をはがす
- ②はがした後の壁を平らにする。壁紙の一部が残ったり、石膏ボードなどの一部まではがれてしまうことがあります
- ③凹んだ部分はパテで埋め、残った壁紙はヘラで削る

ここがなかなかうまくいかないのが、下地の凹凸が表面に響きにくい厚めの壁紙がお薦めです。

次に大事なものは、部屋の性格付けです。リビングなど家族が長く過ごす場所には、万人受けするベーシックな色合いが良いでしょう。寝室は、重厚感のある落ち着いた色合いにすると、リラクセスできる空間になります。

ホコリや汚れの掃除など、お手入れがしやすい素材が良いでしょう。

壁紙を選ぶ際には、大きめのサンプルで見比べることで、見本帳に付いた小さなサンプルでは、実際の壁に貼った時の印象や圧迫感がわかりません。大きめのサンプル、できればロール巻きされた「実物大」壁紙を広げてみたいものです。業者が在庫を持っているかもしれないので交渉してみてください。

ここまでやれば、壁紙の柄がうっとうしく感じるといった「失敗」はかなり防

げます。

四方の壁を同じ壁紙にする必要はなく、1面だけ色を変えたりすれば、部屋のアクセントになります。

貼り替え

汚れが目立ちはじめたり、角が剥がれてきたりするのが目安になります。

家電を買い替えた時なども、貼り替えのタイミングです。例えばエアコンを買い替えると室内機が一回り小型になることが多いので、一緒に壁紙も貼り替えるトスツキリします。冷蔵庫や洗濯機の買い替えサイクルは約10年とされ、機械の裏はホコリやカビで汚れていることが多いので、壁紙を張り替えてしまう方もいます。

リビングや寝室を貼り替える場合は、壁の下地を合板などで補強する工事も検討してください。テレビを壁にかけることだってできるようになります。

色やデザインだけでなく、さまざまな機能を持たせた壁紙もあります。不燃加工は当たり前ですが、調湿機能を備えた吸放湿加工や、防カビ加工を施したものの、抗菌・抗ウィルスの機能を持たせたものもあります。

いきなり初心者の方がリビングの貼り替えをするのは難しいと思います。最初は小部屋の1面や、廊下の腰壁だけ貼り替えるなど、狭い部分や方が一失敗しても大事に至らないところから挑戦してはいかがですか。

読売不動産

本社 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル内
大阪支社 大阪府大阪市北区野崎町 5-9 読売大阪ビル内

TEL (03) 3217-8309 FAX (03) 5200-1833
TEL (06) 6363-8055 FAX (06) 6316-1400